

## 芦屋すこやか長寿プラン 2 1 のアンケート結果（抜粋）

令和 3 年度から施行される第 9 次芦屋すこやか長寿プラン 2 1（第 9 次芦屋市高齢者福祉計画及び第 8 期介護保険事業計画）を策定するにあたり，市民の生活の実態や介護保険に対する考え・意向などを把握するとともに，計画策定の基礎資料とするため市民アンケートを実施しました。下記に質問項目のなかで権利擁護に係る部分を抜粋しております。

## （1）調査対象

<介護予防・日常生活圏域ニーズ調査>

令和 2 年 1 月 1 日現在で，市内在住の 6 5 歳以上の高齢者（一般高齢者，事業対象者，要支援認定者）の中から無作為抽出（要介護認定者を除く）

<在宅介護実態調査>

令和 2 年 1 月 1 日現在の要支援・要介護認定者の中から無作為抽出（施設入所者を除く）

## （2）調査方法

郵送配布・郵送回収（※督促状の送付あり）

## （3）調査期間

令和 2 年 1 月 3 1 日（金）～2 月 1 4 日（金）

## （4）回収結果

	配布数	回収票数	有効票数	無効票数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	3,000 (3,000)	2,233 (2,407)	2,209 (2,369)	24 (38)	73.6% (79.0%)
① 一般高齢者	2,200 (2,200)	1,640 (1,779)	1,631 (1,760)	9 (19)	74.1% (80.0%)
② 事業対象者	144	111	108	3	75.0%
③ 要支援認定者	656 (800)	482 (628)	470 (609)	12 (19)	71.6% (76.1%)
在宅介護実態調査	2,000 (2,000)	1,362 (1,449)	1,179 (1,281)	183 (168)	59.0% (64.1%)

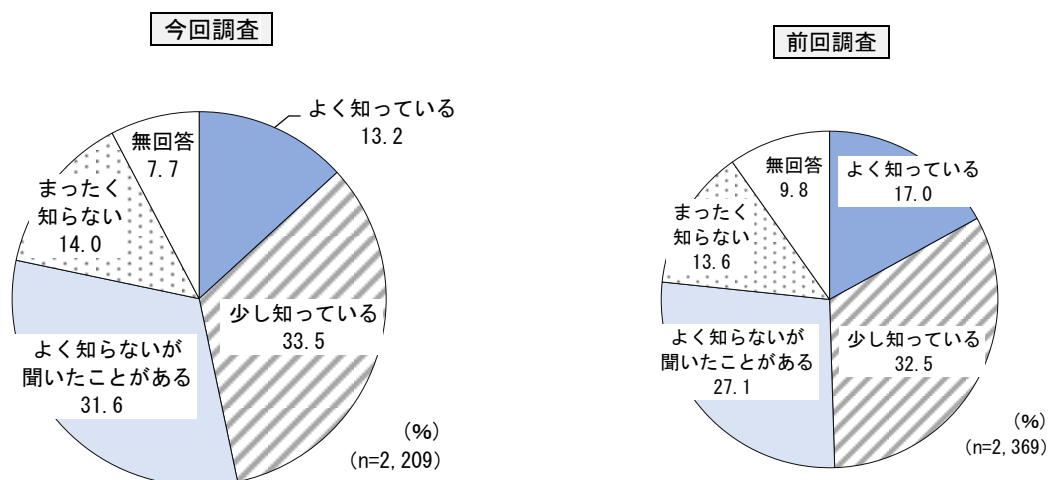
## 権利擁護の取り組みについて（ニーズ調査）

### 【ニーズ調査】（１）成年後見制度の認知度及び利用意向

#### ①認知度

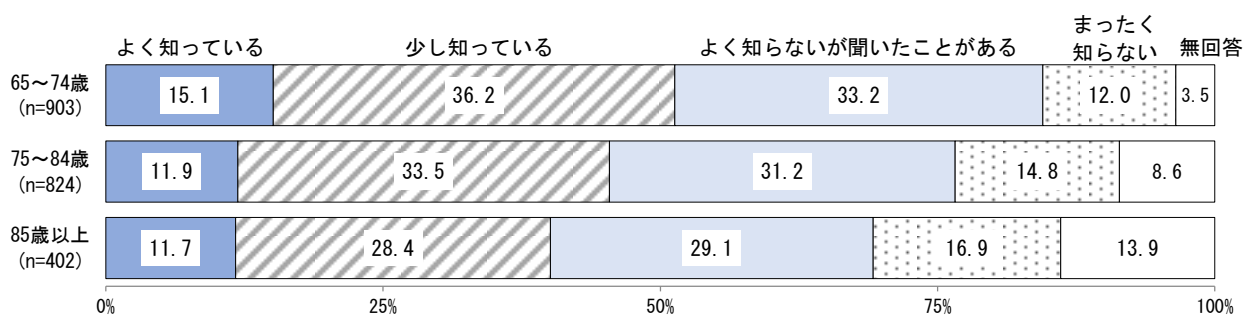
問 10(1) あなたは『成年後見制度』について知っていますか

成年後見制度について、「少し知っている」が33.5%と最も多く、「よく知っている」(13.2%)を合わせると、知っているという割合は4割台(46.7%)となっており、前回調査(49.5%)から2.8ポイント減っている。



年齢別にみると、知っているという割合が、65～74歳で51.3%と最も高く、年齢が上がるにしたがって割合は低くなる傾向にある。

【年齢別 成年後見制度の認知度】

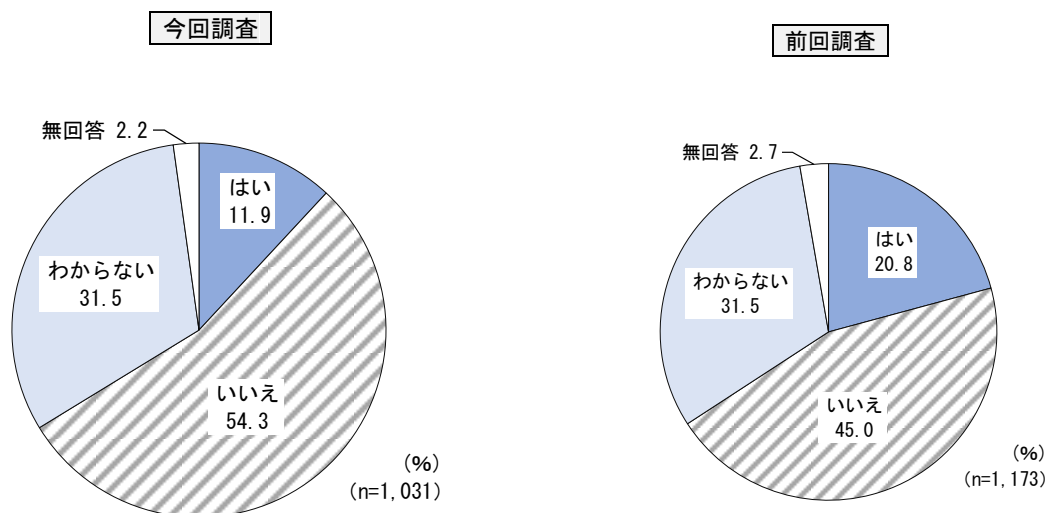


## ②利用意向

【問 10(1)で「よく知っている」または「少し知っている」とお答えの方】

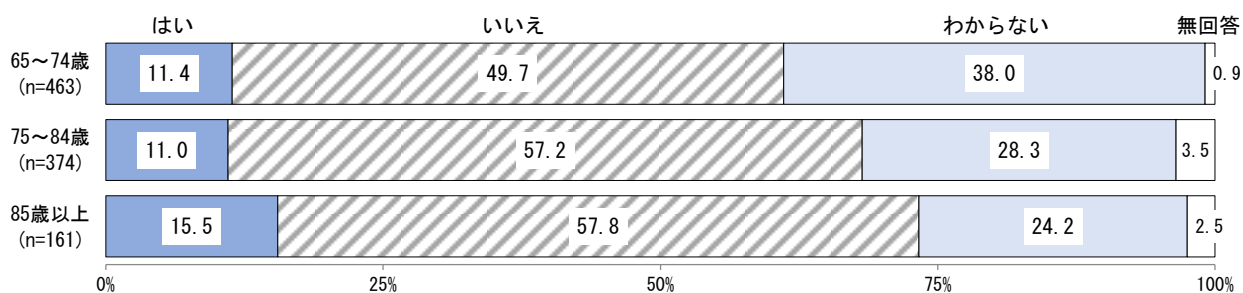
問 10(1)-1 今後、あなたは成年後見制度を利用したいですか

成年後見制度について知っている人のうち、今後利用したいという人の割合（「はい」）は1割台（11.9%）にとどまっており、前回調査（20.8%）からも8.9ポイント減っている。



年齢別にみると、利用したいという割合はいずれの年齢層も1割台となっており、85歳以上で15.5%とやや高い。

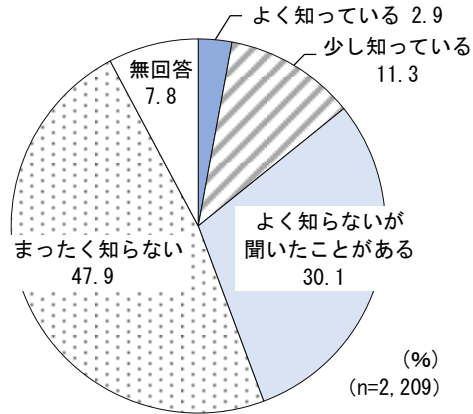
【年齢別 成年後見制度の利用意向】



**【ニーズ調査】(2) 市民後見人の認知度**

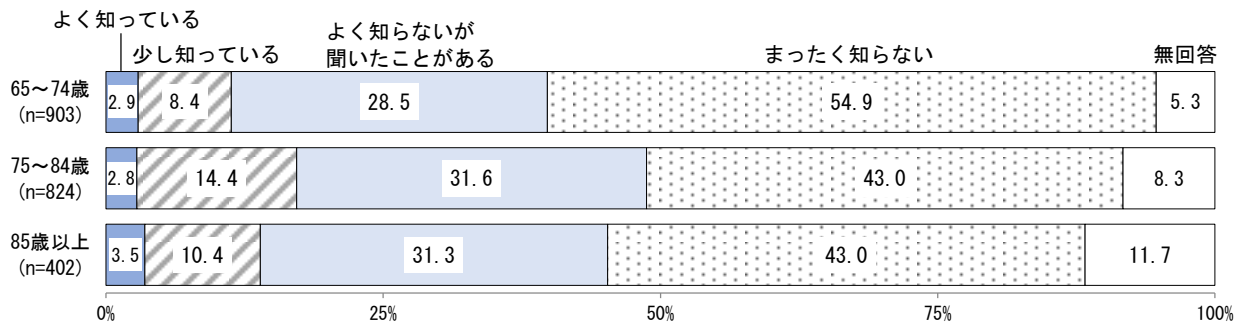
問 10(2) あなたは『市民後見人』について知っていますか

市民後見人について、「よく知っている」が2.9%、「少し知っている」が11.3%となっており、合わせると、知っているという割合は1割台（14.3%）となっている。



年齢別にみると、知っているという割合はいずれの年齢層も1割台となっており、75～84歳で17.2%と高い。

**【年齢別 市民後見人の認知度】**

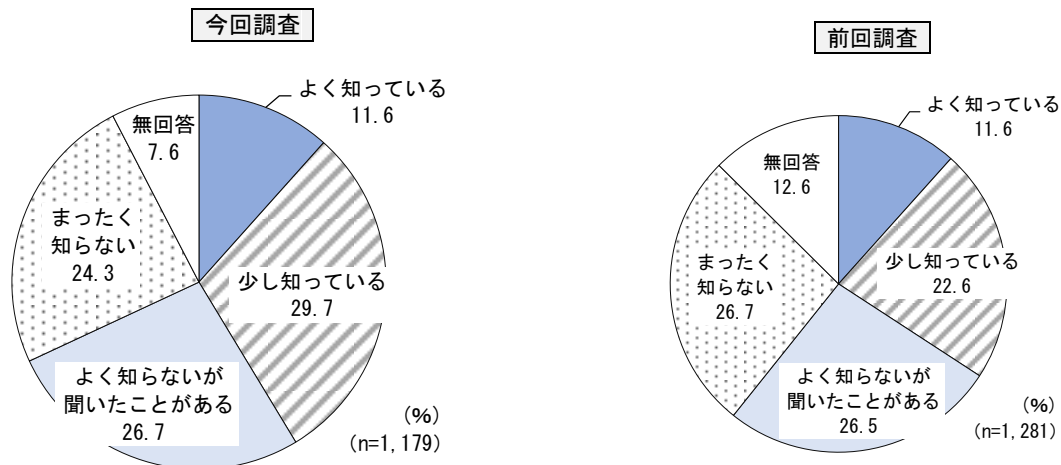


## 【介護実態】(13) 成年後見制度の認知度及び利用意向

### ①認知度

[A票] 問 13 ご本人は『成年後見制度』について知っていますか

成年後見制度について、「少し知っている」が29.7%と最も多く、「よく知っている」(11.6%)を合わせると、知っているという割合は4割台(41.3%)となっており、前回調査(34.2%)から7.1ポイント増えている。

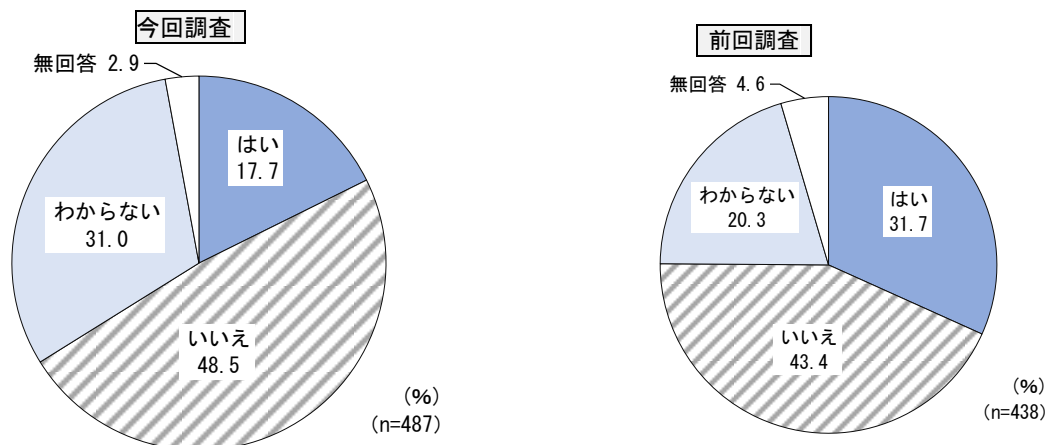


## ②利用意向

【問 13 で「よく知っている」または「少し知っている」とお答えの方】

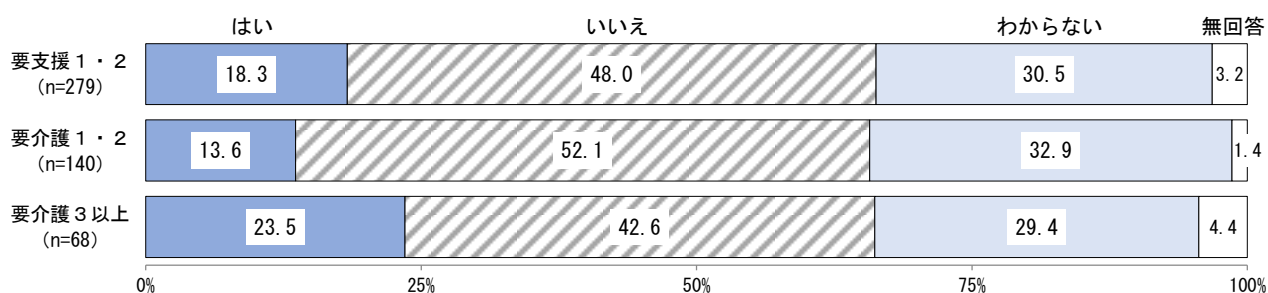
[A票] 問 13-1 今後、ご本人は成年後見制度を利用したいですか

成年後見制度について知っている人のうち、今後利用したいという人の割合（「はい」）は1割台（17.7%）にとどまっており、前回調査（31.7%）からも14.0ポイント減っている。



要介護度別にみると、利用したいという割合が、要支援1・2で18.3%、要介護1・2で13.6%、要介護3以上で23.5%となっている。

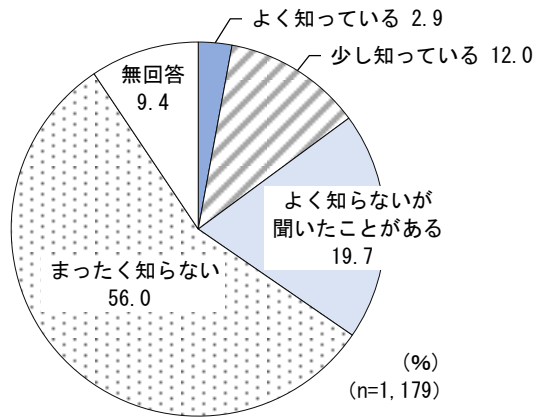
【要介護度別 成年後見制度の利用意向】



## 【介護実態】(14) 市民後見人の認知度

[A票] 問 14 ご本人は『市民後見人』について知っていますか

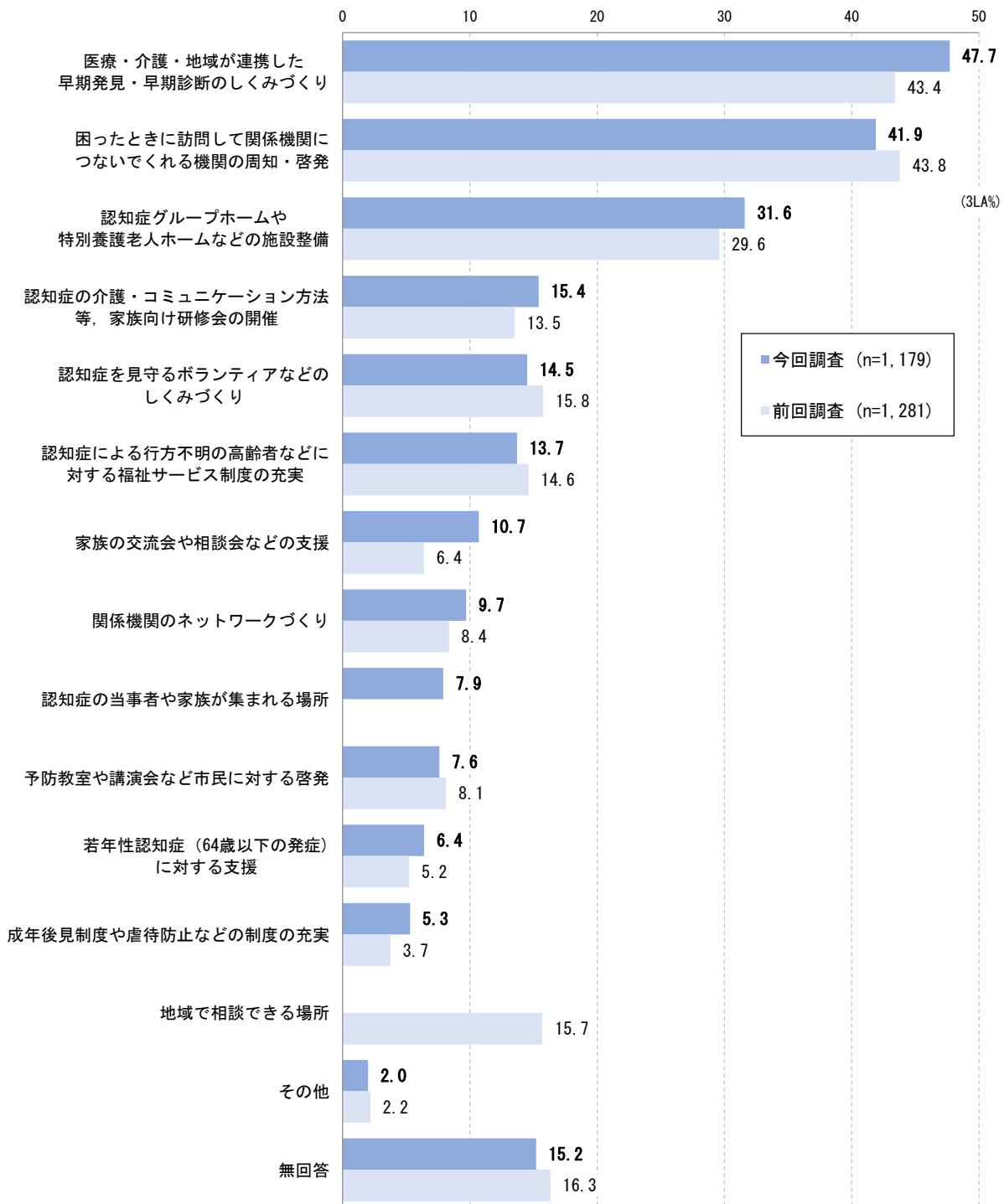
市民後見人について、「よく知っている」が2.9%、「少し知っている」が12.0%となっており、合わせると、知っているという割合は1割台（14.9%）となっている。



## (5) 認知症の人に必要と思う支援

[A票] 問 24 認知症の人への支援で必要なことはどのようなことだと思いますか（主なもの3つまでに○）

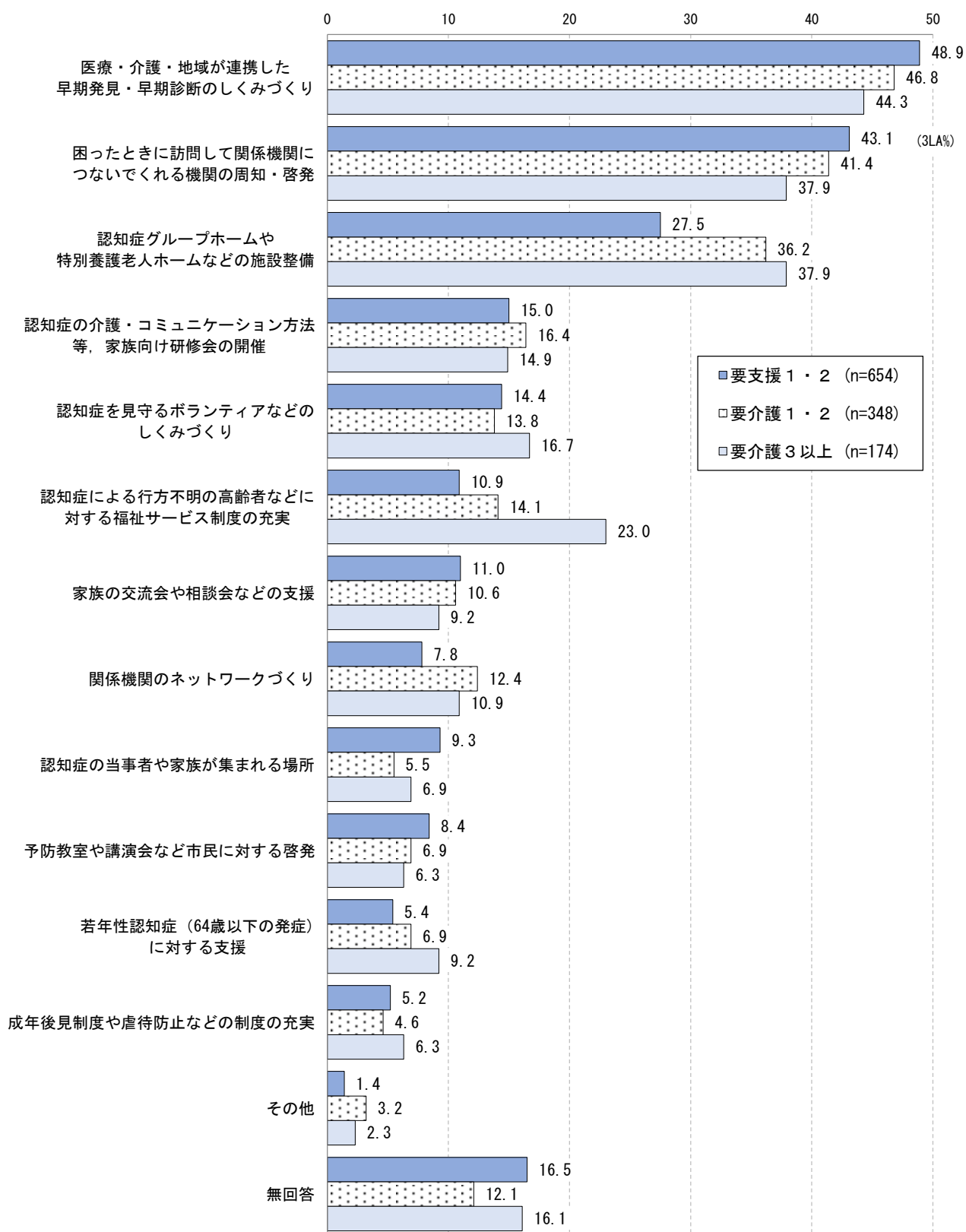
認知症の人への支援で必要と思うこととしては、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が47.7%と最も多くなっており、前回調査（43.4%）からも4.3ポイント増えている。また、これに続くのが、「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関の周知・啓発」で41.9%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」で31.6%となっている。





要介護度別にみると、いずれも「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が最も多く、要支援1・2で48.9%、要介護1・2で46.8%、要介護3以上で44.3%となっている。

【要介護度別 認知症の人に必要と思う支援】



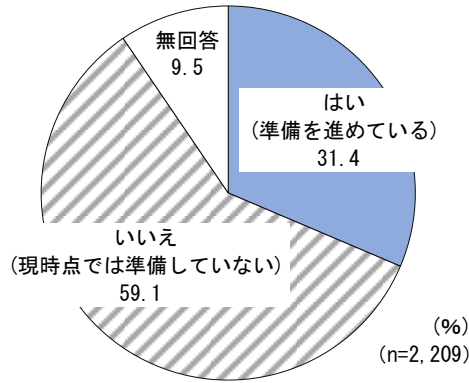
## 【ニーズ調査】12 人生の最終段階について

### (1) 人生の最終段階を迎える準備の状況

#### ①準備の有無

問 11(1) 自身の人生の最終段階に向けて、何か準備していることはありますか

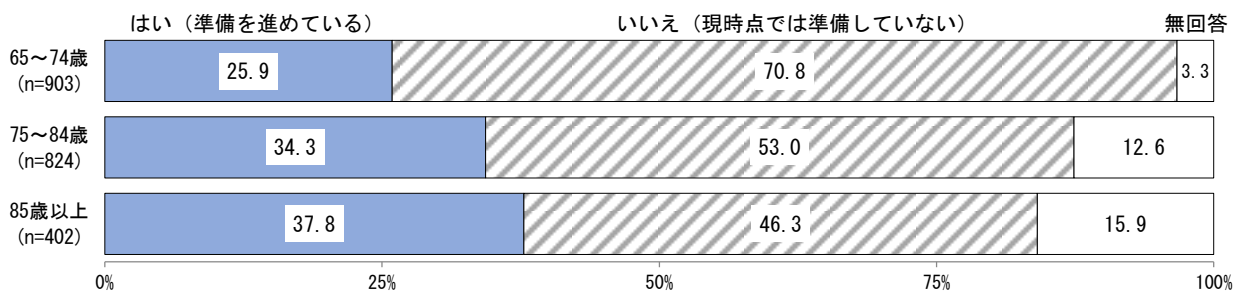
人生の最終段階に向けて準備しているという人（「はい」）は、全体の3割台（31.4%）となっている。



対象者区分別にみると、準備しているという人が、一般高齢者で31.0%、事業対象者で30.6%、要支援者で33.0%と、いずれも3割台となっている。

年齢別にみると、準備しているという人が、65～74歳で25.9%、75～84歳で34.3%、85歳以上で37.8%となっている。

#### 【年齢別 人生の最終段階に向けた準備の有無】

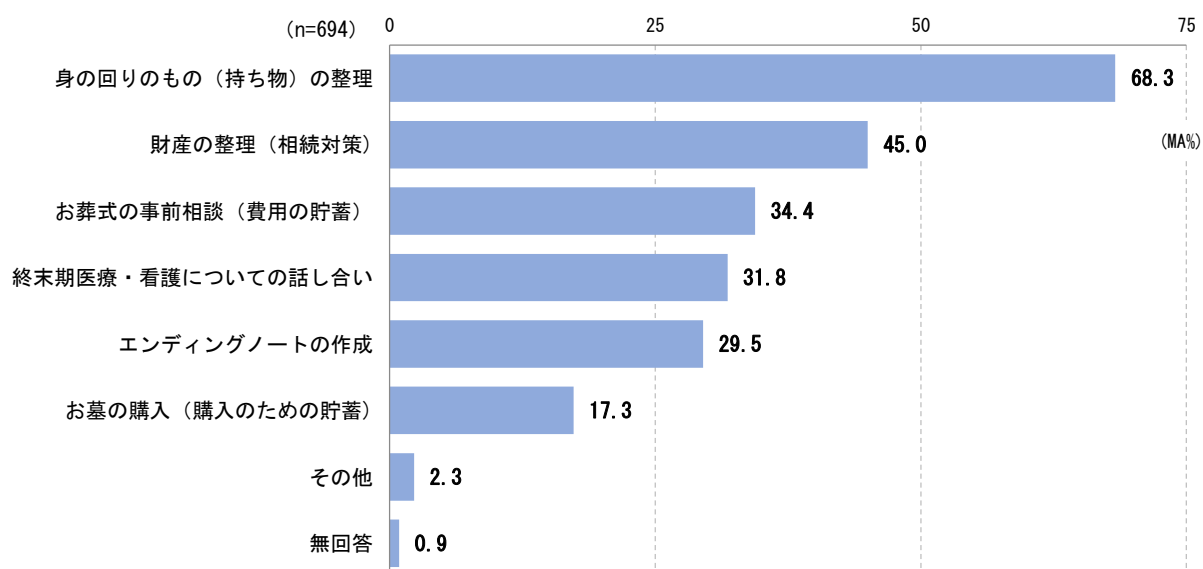


## ②準備を進めている内容

【問 11(1)で「はい(準備を進めている)」とお答えの方】

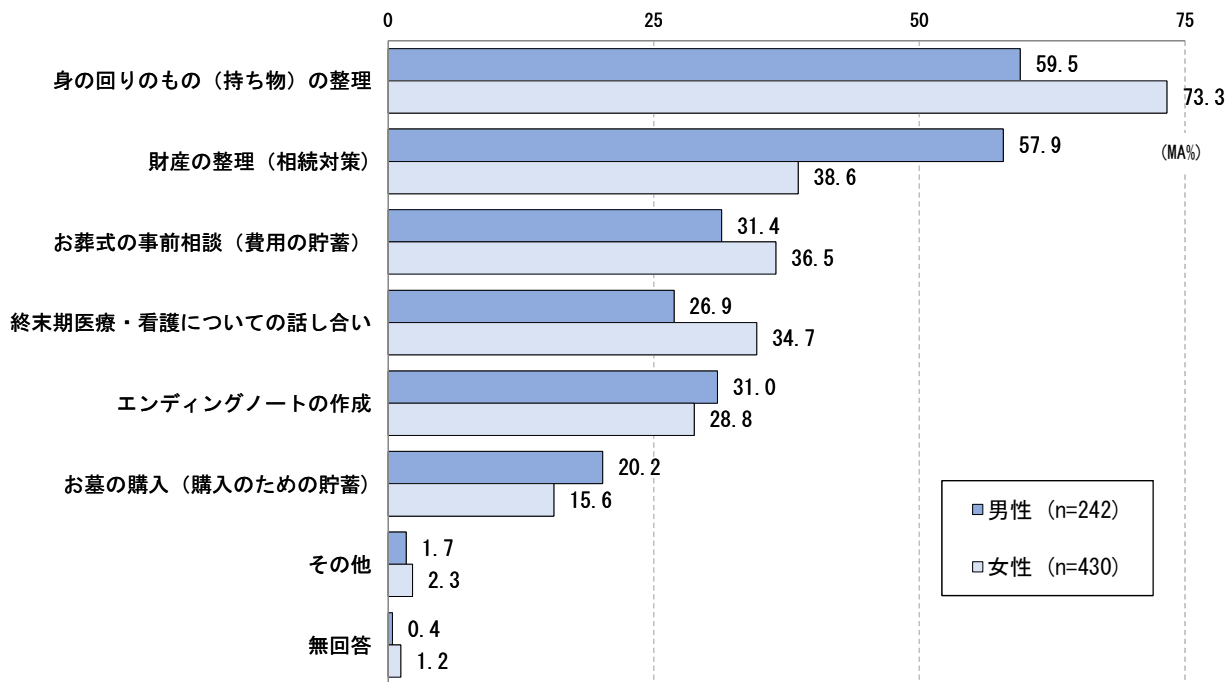
問 11(1)-1 具体的に準備を進めていることは何ですか(〇はいくつでも)

具体的に準備を進めていることとしては、「身の回りのもの(持ち物)の整理」が68.3%と最も多く、次いで「財産の整理(相続対策)」が45.0%となっている。



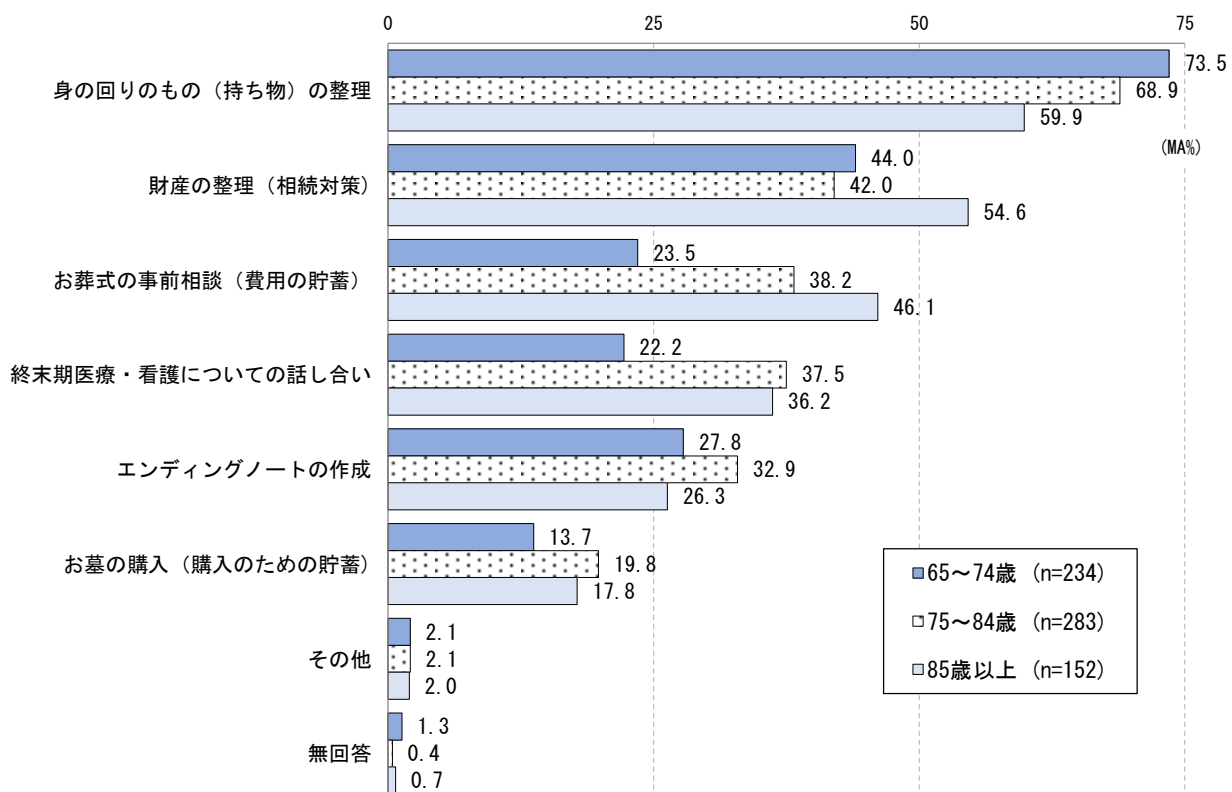
性別にみると、「身の回りのもの（持ち物）の整理」が男性で59.5%に対し、女性では73.3%、「財産の整理（相続対策）」が女性で38.6%に対し、男性では57.9%と、男女間で15～20ポイント程度の差がみられる。

【性別 人生の最終段階に向けて準備を進めている内容】



年齢別にみると、いずれの年齢層も「身の回りのもの（持ち物）の整理」が最も多く、65～74歳で73.5%と高い。また、85歳以上で「財産の整理（相続対策）」が54.6%、「お葬式の事前相談（費用の貯蓄）」が46.1%と、65～84歳に比べて高い割合となっている。

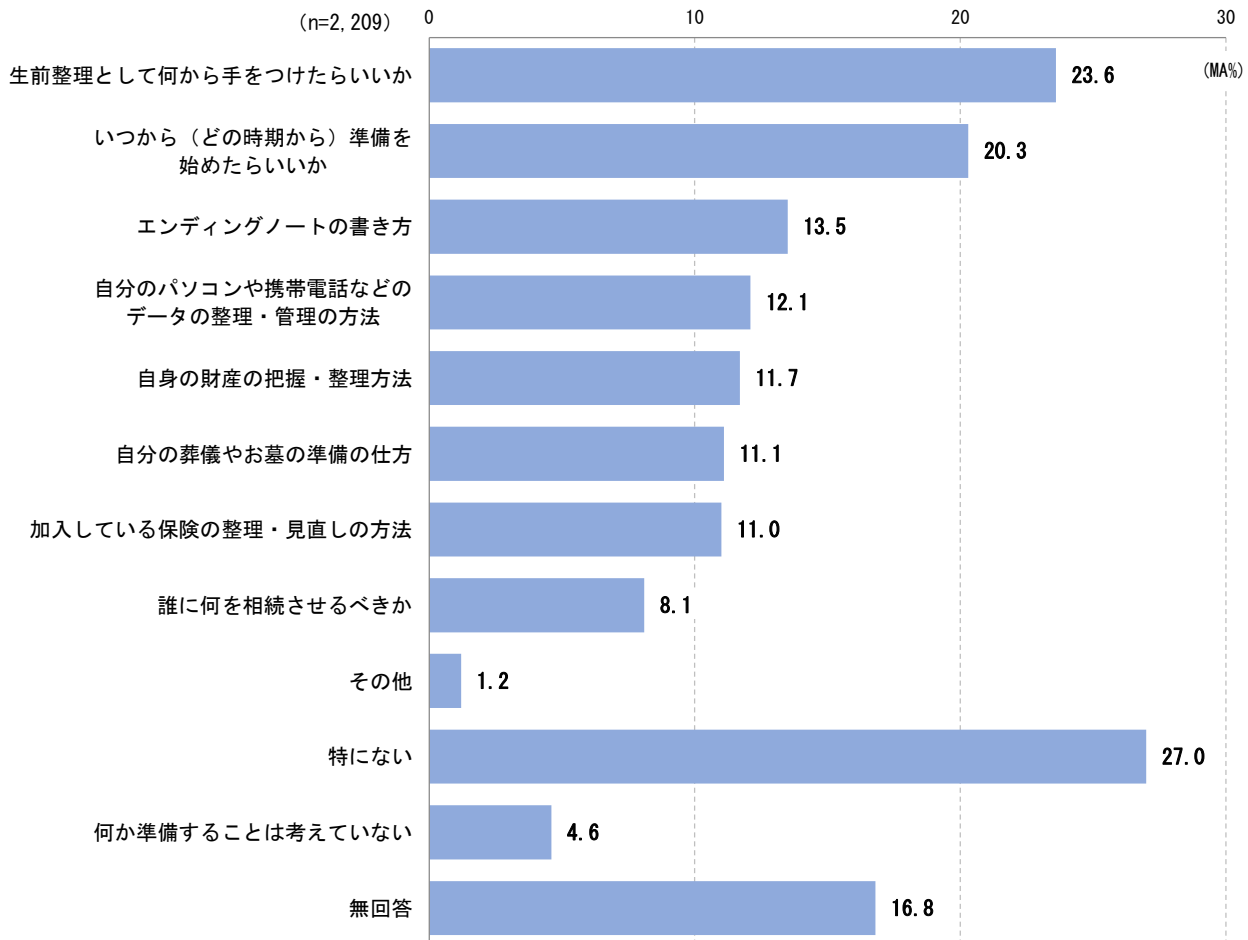
【年齢別 人生の最終段階に向けて準備を進めている内容】



## (2) 人生の最終段階を迎える準備に関して知りたいこと

問 11(2) 将来, 人生の最終段階に向けた準備を進めるにあたって(または現在準備を進めている中で), ご自身が知りたいことや相談したいことはありますか(〇はいくつでも)

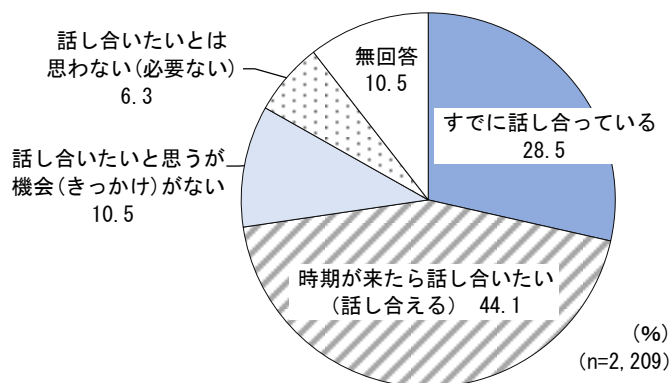
人生の最終段階に向けた準備を進めるにあたって知りたいことや相談したいこととしては, 「生前整理として何から手をつけたらいいか」が 23.6%と最も多く, 次いで「いつから(どの時期から)準備を始めたらいいか」が 20.3%, 「エンディングノートの書き方」が 13.5%となっている。一方, 「特にない」は 27.0%みられる。



### (3) 家族との話し合いの意向

問 11(3) 今後、ご家族と話し合う機会を作りたいと思いますか

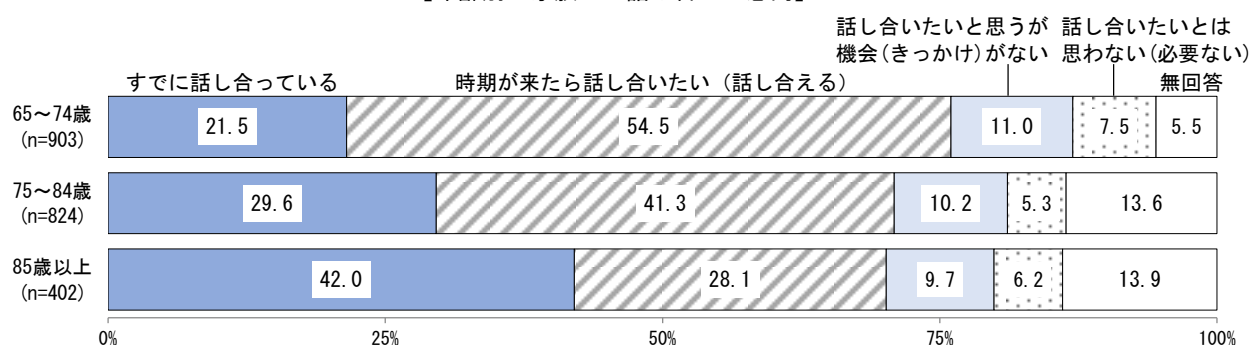
今後、家族と話し合う機会を作りたいと思うかたずねたところ、「時期が来たら話し合いたい（話し合える）」が44.1%と最も多く、次いで「すでに話し合っている」が28.5%となっている。



対象者区分別にみると、「すでに話し合っている」が事業対象者で32.4%、要支援者で32.3%と、それぞれ最も多くなっているのに対し、一般高齢者では「時期が来たら話し合いたい（話し合える）」が半数近く（48.6%）を占めている。

年齢別にみると、「すでに話し合っている」が65～74歳で21.5%、75～84歳で29.6%に対し、85歳以上で42.0%となっている。

【年齢別 家族との話し合いの意向】



#### (4) セミナーへの参加意向

問 11(4) 人生の最終段階を迎える準備に関するセミナー（講演会）が身近な場所で開催された場合、あなたは参加してみたいと思いますか

人生の最終段階を迎える準備に関するセミナー（講演会）が身近な場所で開催された場合、「参加してみたい」が29.1%に対し、「参加してみたいとは思わない」が25.5%となっている。

